

北條直彦 + 吉野弘志

piano

contrabass

+ special guest 中牟礼貞則

guitar

2016 08月27日(土)

開場 19:30
開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3,500 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

お問合せ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



北條直彦

吉野弘志

中牟礼貞則

東京芸術大学卒業。作曲、ジャズ研究、ピアノ、現代音楽からジャズ迄、クロスオーバーな守備範囲を持つ。東京文化会館、草月会館、府中の森芸術劇場でオーケストラ曲、室内楽等が演奏されている。ジャズの研究書としてコンテンポラリージャズピアノ(新主流は以降の現代ジャズ技法)第1巻、第2巻、第3巻、インプロビゼーションとアナリゼ。イントロとエンディングの技法(この二つは稲森康利との共著)、実践コード進行法 i, II。ピアニストとして国際音楽の日フェスティバル、横浜ジャズプロムナード、横浜旭区ジャズフェスティバルでは名ヴィブラホン奏者デイブ・パイク氏と共演。NHKスタジオ5 05、デジタル放送ミュージックバード他出演多数。CD『ワルツフォーデビ〜オマー・ジュトウ〜ビルエヴァンス』『コンセプト』『インヴィテーション』等がリリースされている。国際ジャズ教育者協会日本支部常任理事等を歴任。現在、日本音楽舞踊会議理事、同公演局長。日本現代音楽協会会員。キーボードラボ主宰。

1955年広島市生まれ。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科(コントラバス専攻)に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦、加古隆、山下洋輔、板橋文夫、塩谷哲、などのグループに参加。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』{太田恵賢(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla)}、『吉野弘志モンゴロイダーズ・ネオ』{小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(req)}を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ワード奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブルFarha』などに参加してる。リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダーズ」{メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds)}と、ベース・ソロアルバム「on Bass」、「吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side」がある。

1933年鹿児島県出水市に生まれる。'52年、青山学院在学中からジャズ・ギタリストとして活動を開始。日本に黎明期のボサ・ノヴァを紹介、普及させた。2012年で活動60周年、80歳を越えて、現在も現役のトッププレイヤーであり、各地で演奏を続けている。